



どうなんだより

平成30年夏号

(有限会社) サクセス森

～SPF豚農場で安心・安全を追求する協業法人～

地域を担う

農地所有適格法人の横顔



所在地：森町
代表者：高瀬 幸巳
構成員：3名
設立：平成11年4月
事業内容：養豚
出荷頭数：約8,500頭/年

平成11年4月、糞尿処理問題から養豚経営を継続するため親戚3戸で協業法人を設立した。平成13年から日本SPF豚協会より認証を受け、安心・安全な豚肉づくりに取り組んでいる。平成26・27年には同協会より生産成績農場部門で最優秀賞を受賞、生産活動が認められている。

法人運営のポイント

畜産は「いきもの」相手なので年中無休であり、養豚業にはヘルパー組合がありません。複数戸法人となったことで週1日の定休日や給料制など、生活に対する安心感やゆとりができたことが一番のメリットと考えています。

法人運営のポイント

知識・技術のハイレベルな平準化に向けた役員・従業員のスキルアップのため、継続的にホクレン・JAと技術検討会を実施しています。飼養技術が向上することで、様々な項目の生産性が上がり、法人経営の安定化につながっています。

これから法人化を目指す農業者へ一言

法人経営を始める前に、(1)いろいろな人の意見を聞くこと、(2)経営のシミュレーションをしっかり行うことが重要です。法人化後は意欲をもって農業に取り組んで欲しいと思います。

外国人技能実習制度 ～国際貢献による雇用の確保～

トピックス

本道における外国人技能実習生の受入は、安定的な雇用確保の観点から増加傾向(図1)にあり、その多くはベトナムや中国などの東南アジアが占めています。

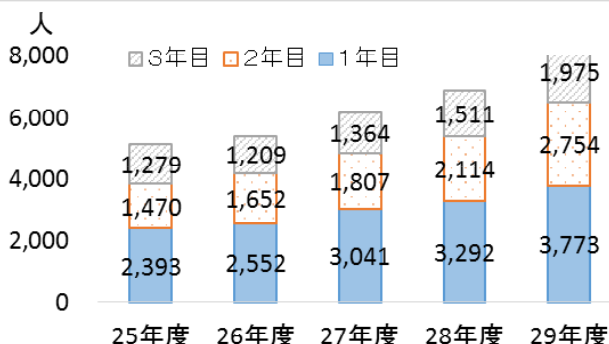


図1 北海道における技能実習生受入数の推移(道経済部)

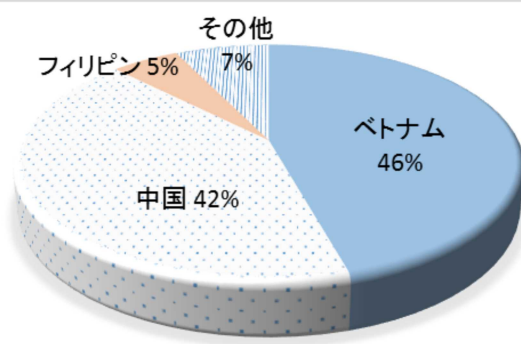


図2 国籍別の受入数(道経済部)

外国人技能実習制度は、国際貢献のため発展途上国等の外国人を日本で一定期間(最長5年)に限り受け入れ、OJT(業務を通じた従業員の職業教育)を通じて技能を移転する制度です。

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局(檜山農業改良普及センター)

電話番号 0139-53-6141